

「保健医療科学」投稿規程・執筆要領

「保健医療科学」刊行の目的

「保健医療科学」は、保健、医療、福祉、生活環境を含む公衆衛生分野の最新のトピックをいち早く取り上げ、それらに関する科学的根拠に基づいた正確な知識・情報を保健医療従事者に伝達することを目的として、年6回刊行されている。

「保健医療科学」の沿革

「保健医療科学」は、1951年に「国立公衆衛生院研究報告」として創刊し、「公衆衛生院研究報告」「公衆衛生研究」と改題されたのち、2002年から現在の誌名となった。広く投稿を受け付ける日本で唯一の公衆衛生分野における伝統ある学術誌である。

I. 投稿規程

1. 「保健医療科学」が掲載対象とする研究領域

「保健医療科学」は、保健、医療、福祉、生活環境等を含む公衆衛生分野に関連するテーマを扱った論文を掲載する。

読者として、保健、医療、福祉、生活環境等に従事している専門技術者、研究者等、自治体や大学・研究機関の職員やこれから従事しようとする人々を想定している。

2. 投稿資格

論文の投稿資格に制限を設けない。

3. 論文の内容

「保健医療科学」が掲載対象とする研究領域に関するもので、他の学術雑誌に未発表のもの、あるいは投稿中でないものに限る。

4. 論文の言語

日本語または英語とする。日本語で記す場合には、英文表記の標題・著者・著者所属・抄録・キーワード・参考文献を記載する。また、英語で記す場合は日本語表記の標題・著者・著者所属・抄録・キーワードを記載する。

5. 論文の区分

下記の9種類の論文を掲載する。

(1) 原著論文 (Original Articles) 査読付き

「保健医療科学」が掲載対象とする研究領域の調査・研究についての論文であって、独創性・新規性があり、かつ、科学的に価値ある事実あるいは結論を含むもの [刷り上がり10頁以内]

(2) 資料 (Research Data) 査読付き

論文としての体裁にとらわれず、公衆衛生学的に有意義な調査・統計をまとめたもの [刷り上がり8頁以内]

(3) 総説 (Reviews) 査読付き

「保健医療科学」が掲載対象とする研究領域について、これまでの知見、研究業績を総括し、体系化あるいは解説したもの [刷り上がり12頁以内]

(4) 短報 (Brief Reports) 査読付き

速報など、原著に比べて簡潔で若干の新知見を含むもの [刷り上がり5頁以内]

(5) 報告 (Practice Reports) 査読付き

国内外の「保健医療科学」が掲載対象とする研究領域に関する実践、教育、研究などを通して得た知見であって、他地域や団体が類似の活動を行う際の参考となる内容を含むもの [刷り上がり5頁以内]

(6) 論壇 (Commentaries) 査読付き

「保健医療科学」が掲載対象とする研究領域にかかわる活動、政策、動向についての専門家としての見解や、提案、提言 [刷り上がり5頁以内]

(7) 解説 (Notes) 査読なし

「保健医療科学」が掲載対象とする研究領域にかかわる活動、政策動向、進歩、課題、展望などについて参考文献を付して総括的に解説するもの [刷り上がり12頁以内]

(8) レター (Letters) 査読なし

掲載論文に対する意見や国内外の「保健医療科学」が掲載対象とする研究領域にかかわる報告で時宜を得たもの [刷り上がり2頁以内]

(9) 書評 (Book Reviews) 査読なし

「保健医療科学」が掲載対象とする研究領域にかかわる書籍について、専門家としての観点から、感想・意見を記載したもの。当該書籍の販売のための宣伝とみなされるものは掲載をしない [刷り上がり1頁以内]

※刷り上がり1頁は2,600字、英字の場合は850wordsを基本とする。

制限頁数を超えた原文の掲載を認めることがある。

6. 投稿の際の注意

(1) 人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等に準じた、科学のおよび倫理的規範に則り実施されていること、所属施設の倫理審査委員会またはこれに準じるものの承認がある場合は記載すること。

(2) 動物を対象にした研究論文は、所属機関で規定される実験動物に関する管理と使用に関するガイドラインに従った旨を明記する。

(3) 論文の形式は、下記の執筆要領に従うこと。これに反する場合は原則として受け付けない。

7. 著作権およびインターネットへの掲載

(1) 投稿された論文の著作権はすべて国立保健医療科学院に帰属する。なお、他誌などにその全部または一部を引用の範囲を超えて使用する場合は本編集委員会の同意を必要とする。

(2) 本誌に掲載された執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされた場合には、執筆者がその責任を負う。

(3) 本誌に掲載された論文は全文を電子化し国立保健医療科学院およびJ-Stageサイトに掲載する。

8. 採否の審査

原稿の採否の審査は、複数の専門家による査読を経て編集委員会が行う。

原稿の修正などのために編集委員会から原稿を返却された場合は、原則として1ヶ月以内に編集委員会に返送すること。修正を求められた日から3か月以上経過した場合は、投稿取り下げとみなす。なおこの原稿について新たな投稿は妨げない。

編集委員会で修正を求められ再投稿する場合は、修正箇所を下線等で明示した原稿および修正箇所を反映した原稿と、指摘された事項への対応を具体的に説明する回答を別に付ける。

5. に示す論文の区分が(7)(8)(9)にあたる論文については編集委員会において採否を審査する。

9. 掲載費用

投稿料・掲載費用は、無料とする。別刷については、論文受理の後に「保健医療科学」編集委員会事務局に申し出て、直接印刷業者に必要額を支払うものとする。

II. 執筆要領

1. 投稿方法

原稿は表紙と本文原稿を別々のPDFファイルで作成し、zipファイル形式で査読システム (<https://c-info.niph.go.jp/sadoku/auth/login>) により投稿する。

投稿に際し、必ず投稿申込書を添付すること。投稿申込書には、申込者がサインすること。

2. 原稿の作成

原則としてパソコンで作成し、印字形式はA4版に横書きで、原則として35字x25行とする。日本語は新仮名遣い、常用漢字を用い、外国語の人名、地名、学名、化合物名は、半角の英文字で記載する。ただし、周知の単語となっている場合はカタカナ(全角)でもよい。単位は特別の理由のない限りSI単位を用いる。論文審査を円滑に実施するため、文章の欄外に連続行番号を付与することが望ましい(文書作成ソフトウェアのヘルプ機能を参照の

こと).

3. 表紙原稿

表題, 著者名, 著者名英文表記, 所属機関名, 所属機関名英文表記, 連絡先住所 (Fax 番号と電子メールアドレスを含む), 図表の数, 別刷請求先を書く. 本文原稿とは別ファイルとすること.

4. 本文原稿

本文原稿第1頁に, 抄録を和文で作成する. 題名, 要旨本文 (1000字以内), キーワードの順に記載する. キーワードは3~5個を和文で記す. 原著論文の場合, 要旨本文の構成は, 目的, 方法, 結果, 結論とし, 見出しをつけて記載する.

続いて抄録を英文で作成する. 英文題名, 要旨本文 (400語以内), 英語キーワードの順に記載する. キーワードは3~5個を英文で記す. 原著論文の場合, 要旨本文の構成は, Objectives, Methods, Results, Conclusion とし, 見出しをつけて記載する. 英文については, 英語に関して十分な知識を持つ専門家にチェックを受けること.

さらに続いて, 本文を作成する. 本文の構成は, 緒言 (はじめに), 材料と方法 (あるいは方法のみ), 結果, 考察, 謝辞, 引用文献 (以上, それぞれの見出しの言葉は変えてもよい), 表, 図の表題と説明文, 図あるいは写真, の順とする. なお, 上記は原著論文の場合の構成であるが, その他の区分についても, この構成を参考に記載する.

5. 利益相反 (Conflict of Interest : COI) に関する情報開示

研究実施や原稿作成などの過程で, バイアスをもたらす可能性のある全ての利害関係 (金銭的・個人的関係等) を開示すること.

(1) 利益相反の無い場合

<記載例>

利益相反なし

(2) 利益相反の有る場合

下記の利益相反状態に該当する場合は関係した企業・団体名を明記する. 研究実施や原稿作成などの過程で, 特定の企業の直接的・間接的な経済的支援を受けた場合は, 論文内にその旨を記すこと.

<記載例>

本研究に関する費用は株式会社〇〇が負担した.

6. 臨床研究・観察疫学研究

臨床研究については, the International Committee of Medical Journal Editors (<http://www.icmje.org/>) に準拠, または, 国立保健医療科学院の臨床研究 (試験) ポータルサイト (<https://rctportal.niph.go.jp/>) に記載されていること. 臨床研究・観察疫学研究の研究方法については, CONSORT Statement (<http://www.consort-statement.org/>), STROBE Statement (<https://www.strobe-statement.org/>) 等に準拠していることが望ましい.

7. 図, 表, 写真

原著論文においては, 図 (写真を含む), 表中の文字, 数字, および表題は, 和文もしくは英文とする. 図表は文章中に挿入, または, 一つずつ別の用紙に記載し, 図1や表1のように図表番号をつけ, 内容の良くわかる表題を付ける. 別の用紙に記載した場合は, すべての図表について, 本文中に挿入すべき場所を原稿中, または, 欄外に指定する. 図の電子ファイルは, docx, xlsx, pptx, jpg 等の形式で保存する. 写真は350dpi以上, 文字を含む図は600dpi以上の解像度を有すること.

8. 引用文献の記載

文献は引用箇所文献番号を大カッコ ([]) で記し, 本文の最後にまとめて引用順に示す.

例1: 酒井ら [1] によれば, ~~

例2: ~~と報告されている [2].

1) 記号 (., ; : 等) の使い分けには十分に注意すること.

2) 英数字 alphanumeric は半角とする.

3) 記号 (., ; : 等) は, 日本語の文脈の中では全角を用いる. その他は半角とする.

4) 巻の前の ; (セミコロン) および頁の前の : (コロン) にはスペースを続けない.

引用できる文献はすでに発行された研究か, 掲載決定済みの原稿に限る. 公表されていないデータ, 個人的な

情報は引用しない。国際誌の雑誌名はフルタイトルあるいはPubMedの中のJournals in NCBI Databasesに採用の略称を用いる、あるいはこれに準拠して用いること。雑誌略称の後の「.」は不要。初頁、終頁の数字は略さないこと。英文による著者名表記については姓 + イニシャル形式（例：smith ja）またはフルネーム形式（john a smith）のいずれかで表記する。（同一引用文献中の表記形式は統一すること。）すべての著者を記載するが、6人を越せば6人を示し、「, et al」または「, 他」を続ける。

なお、日本語の引用文献については英字による補記を行う。

[1] 日本語引用文献の例

三浦宏子, 下ヶ橋雅樹, 富田奈穂子. 持続可能な開発目標(SDGs)における指標とモニタリング枠組み. 保健医療科学. 2017;66(4):358-366.

Miura H, Sagehashi M, Tomita N. [Indicators and monitoring framework for sustainable development goals (SDGs).] J Natl Inst Public Health. 2017;66(4):358-366. (in Japanese)

※日本語引用文献の場合は[]のなかに英字も補記し、タイトルの後に (in Japanese) と追記する。

[2] 日本語引用文献で英文タイトル不明の例

阪東美智子. 社会福祉施設の環境衛生管理. ビルと環境. 2015;150:31-37.

Bando M. [Shakai fukushi shisetsu no kankyo eisei kanri]. Biru to Kankyo. 2015;150:31-37. (in Japanese)

※英文タイトル不明の場合はローマ字で[]のなかに補記し、タイトルの後に (in Japanese) と追記する。氏名についてもローマ字表記する。

[3] 英語引用文献の例

Wosik J, Fudim M, Cameron B, Gellad ZF, Cho A, Phinney D, et al. Telehealth transformation: COVID-19 and the rise of virtual care. J Am Med Inform Assoc. 2020;27(6):957-962. doi: 10.1093/jamia/ocaa067.

または

Jedrek Wosik, Marat Fudim, Blake Cameron, Ziad F Gellad, Alex Cho, Donna Phinney, et al. Telehealth transformation: COVID-19 and the rise of virtual care. J Am Med Inform Assoc. 2020;27(6):957-962. doi: 10.1093/jamia/ocaa067.

※ Epub の日付や doi があれば記載する

[4] 英語引用文献で Epub のみの例

Horii A, Wada K, Smith DR. A Socio-Demographic Examination of Adults Responding to Governmental Vaccination Recommendations during the Japanese Rubella Outbreak of 2013. PLoS One. 2015 ; 10 : e0129900. doi : 10.1371/journal.pone.0129900. eCollection 2015.

※ Epub のみの場合：Epub の日付や doi があれば掲載

[5] 日本語単行本の例（引用の章なし）

澤村明. まちづくり NPO の理論と課題—その生成とマネジメント—. 増補改訂版. 京都：松香堂書店；2009.

Sawamura A. [Machi zukuri NPO no riron to kadai : sono seisei to manejimento. Zoho kaiteiban] Kyoto: Shokodo Shoten; 2009. (in Japanese)

[6] 英語単行本の例（引用の章なし）

Goldstein J. Ideas, interests, and American trade policy. New York: Cornell University Press; 1993.

[7] 日本語単行本の例（引用の章あり）

阪東美智子. 困窮する人々と居住支援. 中島明子, 編著. HOUSES—住宅問題と向き合う人々—. 東京：萌文社；2017. p.99-108.

Bando M. [Konkyu suru hitobito to kyoju shien.] Nakajima A, edited. [HOUSES: Jutaku mondai to mukiau hitobito.] Tokyo: Hobunsha; 2017. (in Japanese)

[8] 英語単行本の例（引用の章あり）

Osawa H. History and background of indoor air pollution measures in Japan. In: Chemical Sensitivity and Sick-Building Syndrome. New York; CRC Press; 2016. p.80-88.

[9] 日本語学会報告の例

水島洋, 金谷泰宏, 緒方裕光. 指定難病の疾患分類および ICD コードに関する検討. 第75回日本公衆衛生学会総会; 2016.10.26-28; 大阪. 日本公衆衛生雑誌. 2016;63(10特別附録):287.

Mizushima H, Kanatani Y, Ogata H. [Shitei nanbyo no shikkan bunrui oyobi ICD kodo ni kansuru kento.] Dai 75 kai Nihon Koshu Eisei Gakkai Sokai; 2016.10.26-28; Osaka. Nihon Koshu Eisei Zasshi. 2016;63(10 Suppl.):287. (in Japanese)

[10] 英語学会報告の例

Ogata H, Sato Y, Tomita N, Mori K, Mizushima H. Pretest for the ICD-11 Field trial in Japan WHO-Family of International Classifications Network Annual Meeting 2016; 2016.10.8-12; Tokyo. Poster Booklet. C305.

[11] 日本語のインターネット上の資料や情報の例 (URL と最終アクセス日付を入れる)

内閣府. 平成28年版高齢社会白書. http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2016/zenbun/28pdf_index.htm (accessed 2017-02-19)

Naikakufu. [Heisei 28nenban korei shakai hakusho.] http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2016/zenbun/28pdf_index.htm (in Japanese) (accessed 2017-02-19)

[12] 英語のインターネット上の資料や情報の例 (URL と最終アクセス日付を入れる)

WHO. WHO Global Report on Falls Prevention in older age. 2008. http://www.who.int/ageing/publications/Falls_prevention7March.pdf (accessed 2016-10-07)

[13] 日本語学術報告書：研究代表者（総括報告書）の例

緒方裕光, 研究代表者. 厚生労働科学研究費補助金食品の安全確保推進研究事業「リスクコミュニケーションにおける情報の伝達手法に関する研究」(H24-食品-指定-002) 平成26年度総括・分担研究報告書. 2015.

※最後の「2015.」は発行年。(西暦)

Ogata H, Kenkyu Daihyosha. Research on Food Safety, Health, Labour and Welfare Sciences Research Grants. [Risk communication ni okeru joho no dentatsu shuho ni kansuru kenkyu.] (H24-Shokuhin-Shitei-002) Report on Fiscal Year Heisei 26. 2015. (in Japanese)

[14] 日本語学術報告書：分担研究者（総括報告書）の例

水島洋, 緒方裕光, 金谷泰宏. 難病データ登録システムの開発, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業「今後の難病対策のあり方に関する研究」(研究代表者: 曾根智史. H26-難治等(難)-指定-001) 平成26年度総括・分担研究報告書. 2015. p.109-155.

Mizushima H, Ogata H, Kanatani Y. [Nanbyo deta toroku system no kaihatsu.] Research on rare and intractable diseases, Health, Labour and Welfare Sciences Research Grants. [Kongo no nanbyo taisaku no arikata ni kansuru kenkyu.](Kenkyu Daihyosha: Sone T. H26-Nanchito-Shitei-001) Report on Fiscal Year Heisei 26. 2015. p.109-155. (in Japanese)

※厚生労働科学研究費補助金の英語名については厚生労働省ホームページ

「厚生労働科学研究費補助金等取扱細則」[http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-](http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/kitei4_4.pdf)

[Daijinkanboukouseikagakuka/kitei4_4.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/kitei4_4.pdf) 別表第5 に記載されている。

9. 補足資料

ページ制限を超えて図表などの提示が必要な場合, 論文に電子ファイルによる補足資料 (Supplemental information) をつけることができる. 補足資料も査読の対象となる. 補足資料は印刷しないが, 印刷する論文にその存在を記載し, 参照可能な形でウェブサイトに掲載する. (例: 「補足資料1 アンケート原票」, 「表 S1 対象者の詳細データ」などと表記する.)

10. 転載許可

図表や500字 (英語200単語) 程度以上の文章の転載を行う場合は, 出典を明記しなければならない. 出版物である場合は, 著者及び出版社から書面により転載許可を受けること.

(2021年7月28日改訂)

Journal of the National Institute of Public Health

Instructions for authors / General guide to JNIPH

Objective of publishing the “Journal of the National Institute of Public Health”

The “Journal of the National Institute of Public Health” is published 6 times a year to promptly cover up-to-date topics in the field of public health; including health, health care, social care and environmental health, and to transmit evidence-based accurate knowledge and information to healthcare professionals.

History of the “Journal of the National Institute of Public Health”

The “Journal of the National Institute of Public Health” was founded in 1951, at which time it was called “Bulletin of the Institute of Public Health”; the name was changed to “Journal of the National Institute of Public Health.” This is the only traditional academic journal that accepts submissions from the wide field of public health in Japan.

I. Submission guidelines

1. Research fields covered by the “Journal of the National Institute of Public Health”

The “Journal of the National Institute of Public Health” publishes articles on subjects in the field of public health, including health, health care, social care and environmental health.

The intended readers are the staff of local governments, universities and research institutions, such as professional engineers and researchers engaged in health, health care, social care, environmental health, etc., and those who expect to be engaged in these occupations in the future.

2. Qualifications for submission

Anyone can submit an article.

3. Content of articles

The contents of the articles should be related to research fields covered by the “Journal of the National Institute of Public Health,” and articles should not have been published or been submitted to other academic journals.

4. Language of articles

Manuscripts can be written in Japanese and English. If your manuscript is written in Japanese, please provide the title, author names, affiliations, abstract, keywords and references in English. If your manuscript is written in English, please provide the title, author names, affiliations, abstract and keywords in Japanese.

5. Categories of articles

The following 9 categories of articles are published.

(1) Original Articles (peer-reviewed)

Articles on surveys/studies in research fields covered by the “Journal of the National Institute of Public Health,” which should have originality/novelty, and contain scientifically valuable findings or conclusions [up to 10 printed pages]

(2) Research Data (peer-reviewed)

Articles written in free format describing significant surveys/statistics from the standpoint of public health [up to 8 printed pages]

(3) Reviews (peer-reviewed)

Articles that summarize and systematize or interpret previous findings and research results in the fields covered by the “Journal of the National Institute of Public Health” [up to 12 printed pages]

(4) Brief Reports (peer-reviewed)

Articles briefs than original articles, with some new findings, such as preliminary reports [up to 5 printed pages]

(5) Practice Reports (peer-reviewed)

Articles with findings obtained through practice, education, research or other activities related to the research fields covered by the "Journal of the National Institute of Public Health" conducted in Japan or other countries, which are helpful when other communities or organizations perform similar activities [up to 5 printed pages]

(6) Commentaries (peer-reviewed)

Experts' opinions, proposals or suggestions on activities, policies or trends in research fields covered by the "Journal of the National Institute of Public Health" [up to 5 printed pages]

(7) Notes (non-peer-reviewed)

Comprehensive commentaries on the activities, policy trends, advances, problems, perspectives, etc., in the research fields covered by the "Journal of the National Institute of Public Health," with references [up to 12 printed pages]

(8) Letters (non-peer-reviewed)

Opinions on published articles and timely reports in research fields covered by the "Journal of the National Institute of Public Health" in Japan or other countries [up to 2 printed pages]

(9) Book Reviews (non-peer-reviewed)

Articles describing impressions/opinions about books in research fields covered by the "Journal of the National Institute of Public Health" from the standpoint of experts; articles considered to serve as advertisements to boost the books' sales shall not be published. [up to 1 printed page]

*One printed page basically corresponds to 2600 characters or 850 English words.

Manuscripts exceeding the maximum number of pages may be published.

6. Manuscript submission instructions

- (1) Research involving human subjects should be conducted in compliance with scientific and ethical standards according to the Declaration of Helsinki, "ethical guidelines for clinical research," "ethical guidelines for epidemiological research," etc. If you had obtained approval from the ethics committee or a similar body of your institution, this should be described accordingly.
- (2) Research articles involving animals should describe that the research was conducted according to the guidelines for the management and use of experimental animals prescribed by your institution.
- (3) The format of the articles should conform to the Instructions for Authors below. Articles not conforming to the instructions will not be accepted, in principle.

7. Copyright and internet publication

- (1) Copyright of all submitted articles shall belong to the National Institute of Public Health. When all or a part of an article is to be used in other journals, etc., in a manner of more than mere citation, approval must be obtained from the editorial board of the journal.
- (2) If the content of an article published in the journal is found to infringe the copyright of a third party, the responsibility shall fall on the authors.
- (3) The full texts of articles published in the journal are digitized and published on the website of the National Institute of Public Health and J-Stage.

8. Review for publication

The acceptance of manuscripts for publication shall be determined by the editorial board through peer review by 2 or more experts. If your manuscript is returned for revision or other reasons by the editorial board, you should send the revised manuscript back to the editorial board within 1 month. If the revised manuscript is returned after the 1-month period, it may be considered as a new submission. For articles in categories (7), (8) and (9) shown in 5, the acceptance of manuscripts shall be determined by the editorial board.

9. Fee for publication

There is no fee for submission or publication. Regarding reprint fees, after acceptance of your manuscript, you should contact the secretariat of the editorial board of the "Journal of the National Institute of Public Health" and directly pay the fees to the printer.

II. Instructions for authors

1. Submission

Manuscripts should be sent by e-mail to jniph@niph.go.jp.

Be sure to attach an application for submission when submitting your manuscript. The applicant should sign the application for submission.

2. Manuscript preparation

Manuscripts should be prepared on personal computers and printed horizontally on A4 paper, with each page containing 25 lines of 35 characters each. Japanese manuscripts should be written in modern kana orthography using Joyo kanji, with foreign personal names, place names, scientific names and compound names written in half-width English characters. However, well-known words may be written in katakana (full-width). The international system of units (SI) should be used, unless there is any specific reason not to. It is desirable to give line numbers in the margin to make the manuscript review smooth (use the help function of a word processing software for how to show line numbers on your manuscript).

3. Manuscript structure

The structure for original articles is shown below, and other categories of articles should be structured by reference to it.

The first page should be a cover page, the second and third page should contain a Japanese and an English abstract, and subsequent pages should contain the text. The text should consist of Introduction, Materials and Methods (or Methods alone), Results, Discussion, Acknowledgement, References (the above heading words can be changed), Tables, Figure Titles and Legends, and Figures or Photographs, in that order.

4. Cover page

The cover page should contain the title of the manuscript, authors' names, affiliations, contact addresses (including Fax numbers and e-mail addresses), number of figures and tables, and address to which reprint requests should be sent. Consecutive page numbers should be given, with page 1 on the cover page.

5. Abstract and keywords

The second page should contain a Japanese abstract. The title of the manuscript, authors' names, affiliations, the text of the abstract (up to 1000 characters), and keywords should be given, in that order. Three to 5 keywords in Japanese should be provided. Abstracts of original articles should be structured under the following headings: Objectives, Methods, Results and Conclusion, in that order.

The third page should contain an English abstract. The title of the manuscript, authors' names, affiliations, the text of the abstract (up to 400 words), and keywords should be given, in that order, in English. Three to 5 keywords in English should be provided. Abstracts of original articles should be structured, in order, under the following headings: Objectives, Methods, Results and Conclusion, in that order. It is desirable that the English of the manuscript be checked by experts with sufficient knowledge of English. Regardless of whether the English language usage in the manuscript has been checked or not, it may be checked before printing after acceptance of the manuscript, at the discretion of the editorial board.

6. Disclosure of information on conflicts of interest (COI)

All interests (such as financial and personal relationships) that may lead to bias in the process of research implementation, manuscript preparation, etc., should be disclosed.

(1) In the case of absence of COI

<An example of description>

There is no conflict of interest to disclose in relation to submission of this manuscript.

(2) In the case of presence of COI

If there is the following COI, names of relevant companies/organizations should be provided. Direct or indirect financial support from particular companies for the process of research implementation, manuscript preparation,

etc., if any, should be described in the article.
<An example of description>
The cost of this study was paid by XX Co., Ltd.

7. Clinical/observational epidemiological studies

Clinical studies should conform to the International Committee of Medical Journal Editors (<http://www.icmje.org/>) or listed on the clinical study (trial) portal site of the National Institute of Public Health (<https://rctportal.niph.go.jp/>). It is desirable that the methods adopted for clinical/observational epidemiological studies be in accordance with the “Consolidated Standards of Reporting Trials (CONSORT)” statement (<http://www.consort-statement.org/>), the “Strengthening the Reporting of Observational Studies in Epidemiology (STROBE)” statement (<https://www.strobe-statement.org/>), etc.

8. Figures, tables and photographs

In original articles, characters, numerals and titles in figures (including photographs) and tables should be in Japanese or English. Figures and tables should be inserted into the text, or each figure and table should be printed on a separate sheet of paper. Numbers should be given to figures and tables (e.g., Figure 1 and Table 1) and titles adequately reflecting the content should be indicated. If figures and tables are printed on separate sheets of paper, you should indicate in the manuscript or its margin where the figures and tables should be inserted in the text. Electronic files of figures should be stored in formats such as docx, xlsx, pptx, and jpg. Photographs should have a resolution of at least 350 dpi and figures with characters should have a resolution of at least 600 dpi.

9. Description of references

Reference numbers should be given in square brackets ([]) where applicable, and references should be listed at the end of the text in the order of the citations.

Example 1: According to Sakai et al. [1], -----

Example 2: It was reported that ----- [2].

- 1) Symbols (such as , . ; :) should be used properly and carefully.
- 2) Half-width alphanumeric characters should be used.
- 3) Full-width symbols (such as , . ; :) should be used in Japanese sentences, while half-width symbols should be used in other languages.
- 4) The semicolon (;) before a volume number and colon (:) before page numbers should not be followed by a space.

Only published studies and manuscripts accepted for publication can be cited as references. Unpublished data and personal information should not be cited. Abbreviated names of international journals adopted by Journals in National Center for Biotechnology Information (NCBI) Databases in PubMed (US National Library of Medicine, National Institutes of Health) or abbreviations in accordance with them should be used. A period “.” should not be used after an abbreviated journal name. The first and last page numbers should not be abbreviated. See the following examples.

For Japanese references, information should be provided in English as well.

[1] An example of a Japanese reference

三浦宏子, 下ヶ橋雅樹, 富田奈穂子. 持続可能な開発目標(SDGs)における指標とモニタリング枠組み. 保健医療科学. 2017;66(4):358-366.

Miura H, Sagehashi M, Tomita N. [Indicators and monitoring framework for sustainable development goals (SDGs).] J Natl Inst Public Health. 2017;66(4):358-366. (in Japanese)

*For a Japanese reference, the English title should be given in [], followed by (in Japanese).

[2] An example of a Japanese reference with unknown English title

阪東美智子. 社会福祉施設の環境衛生管理. ビルと環境. 2015;150:31-37.

Bando M. [Shakai fukushi shisetsu no kankyo eisei kanri]. Biru to Kankyo. 2015;150:31-37. (in Japanese)

*If the English title is unknown, the Japanese title should be given in [] in Roman letters, followed by (in Japanese). Author names should also be given in Roman letters.

[3] An example of an English reference

Quinn C, Demirjian A, Watkins LE, Tomczyk S, Lucas C, Brown E, et al. Legionnaires' Disease outbreak at a long-term care facility caused by a cooling tower using an automated disinfection system--Ohio, 2013. *Journal of Environmental Health*. 2015;78(5):8-13.

*For an "Epub ahead of print" article, the Epub date and digital object identifier (doi), if any, should be given.

[4] An example of an English reference published only in Epub

Horii A, Wada K, Smith DR. A Socio-Demographic Examination of Adults Responding to Governmental Vaccination Recommendations during the Japanese Rubella Outbreak of 2013. *PLoS One*. 2015 ; 10 : e0129900. doi : 10.1371/journal.pone.0129900. eCollection 2015.

*A reference published only in Epub; Epub date and doi, if any, should be given.

[5] An example of a Japanese book (no chapter cited)

澤村明. まちづくり NPO の理論と課題—その生成とマネジメント—. 増補改訂版. 京都 : 松香堂書店 ; 2009.
Sawamura A. [Machi zukuri NPO no riron to kadai : sono seisei to manejimento. Zoho kaiteiban] Kyoto: Shokodo Shoten; 2009. (in Japanese)

[6] An example of an English book (no chapter cited)

Goldstein J. Ideas, interests, and American trade policy. New York: Cornell University Press; 1993.

[7] An example of a Japanese book (with a chapter cited)

阪東美智子. 困窮する人々と居住支援. 中島明子, 編著. HOUSES—住宅問題と向き合う人々—. 東京 : 萌文社 ; 2017. p.99-108.
Bando M. [Konkyu suru hitobito to kyoju shien.] Nakajima A, edited. [HOUSES: Jutaku mondai to mukiau hitobito.] Tokyo: Hobunsha; 2017. p.99-108 (in Japanese)

[8] An example of an English book (with a chapter cited)

Osawa H. History and background of indoor air pollution measures in Japan. In: *Chemical Sensitivity and Sick-Building Syndrome*. New York; CRC Press; 2016. p.80-88.

[9] An example of a presentation in Japanese at a scientific meeting

水島洋, 金谷泰宏, 緒方裕光. 指定難病の疾患分類および ICD コードに関する検討. 第75回日本公衆衛生学会総会 ; 2016.10.26-28; 大阪. *日本公衆衛生雑誌*. 2016;63(10特別附録):287.
Mizushima H, Kanatani Y, Ogata H. [Shitei nanbyo no shikkan bunrui oyobi ICD kodo ni kansuru kento.] Dai 75 kai Nihon Koshu Eisei Gakkai Sokai; 2016.10.26-28; Osaka. *Nihon Koshu Eisei Zasshi*. 2016;63(10 Suppl.):287. (in Japanese)

[10] An example of a presentation in English at a scientific meeting

Ogata H, Sato Y, Tomita N, Mori K, Mizushima H. Pretest for the ICD-11 Field trial in Japan WHO-Family of International Classifications Network Annual Meeting 2016; 2016.10.8-12; Tokyo. Poster Booklet. C305.

[11] An example of data or information in Japanese on the URL and the last access date should be given.)

内閣府. 平成28年版高齢社会白書. http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2016/zenbun/28pdf_index.htm (accessed 2017-02-19)
Naikakufu. [Heisei 28nenban korei shakai hakusho.] http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2016/zenbun/28pdf_index.htm (in Japanese) (accessed 2017-02-19)

[12] An example of data or information in English on the internet (URL and the last access date should be given.)

WHO. WHO Global Report on Falls Prevention in older age. 2008. http://www.who.int/ageing/publications/Falls_prevention7March.pdf (accessed 2016-10-07)

[13] An example of a scientific report in Japanese: principal investigator (comprehensive report)

緒方裕光. 研究代表者. 厚生労働科学研究費補助金食品の安全確保推進研究事業「リスクコミュニケーションにお

ける情報の伝達手法に関する研究」(H24-食品-指定-002)平成26年度総括・分担研究報告書. 2015.

* “2015.” at the end represents the year of publication (the Christian Era)

Ogata H, Kenkyu Daihyosha. Research on Food Safety, Health, Labour and Welfare Sciences Research Grants. [Risk communication ni okeru joho no dentatsu shuho ni kansuru kenkyu.] (H24-Shokuhin-Shitei-002) Report on Fiscal Year Heisei 26. 2015. (in Japanese)

[14] An example of a scientific report in Japanese: co-investigator (comprehensive report)

水島洋, 緒方裕光, 金谷泰宏. 難病データ登録システムの開発, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業「今後の難病対策のあり方に関する研究」(研究代表者: 曾根智史. H26-難治等(難)-指定-001)平成26年度総括・分担研究報告書. 2015. p.109-155.

Mizushima H, Ogata H, Kanatani Y. [Nanbyo deta toroku system no kaihatu.] Research on rare and intractable diseases, Health, Labour and Welfare Sciences Research Grants. [Kongo no nanbyo taisaku no arikata ni kansuru kenkyu.](Kenkyu Daihyosha: Sone T. H26-Nanchito-Shitei-001) Report on Fiscal Year Heisei 26. 2015. p.109-155. (in Japanese)

* For English names of Health and Labour Sciences Research Grants, see Table 5 in the Appendix entitled “Detailed Regulations for Handling Health and Labour Sciences Research Grants” on the website of the Ministry of Health, Labour and Welfare.

10. Supplemental information

If figures, tables or other data exceeding the maximum number of pages need to be presented, supplemental information in an electronic file can be attached to the manuscript. The supplemental information shall also be peer-reviewed. The supplemental information shall not be printed, but its existence shall be described in the printed article, and it shall be published on the website in a browsable format (titled, such as “Supplemental Information 1. Original Questionnaire Forms” and “Table S1, Detailed Data on the Subjects”).

11. Permission for reproduction

If figures, tables or sentences over approximately 500 characters (200 English words) are reproduced, the source must be indicated. If the reference is a book, written permission for reproduction must be obtained from the author as well as the publisher.

(Revised on 27th February, 2019)